

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。) ※うす黄色のマスは今回掲載分の意見	意見掲載日
細江	18	道路の側溝に蓋がなく作業性が悪い。このような畑を借りようと思わない。	R3.1.29
細江	18	自治会に申請すれば道路側溝のふたをかけてもらえると言ったが、家もなく通学路にもなってないので理由不足で申請できないようだ。	R3.1.29
細江	18	県押しの青島みかんを増やしているが、今年は予想以上に収穫量が多く、貯蔵庫不足になってしまった。屋外では貯蔵性が非常に悪く、安いみかんになってしまった。青島を増やすときは貯蔵庫を増やさないといけない。	R3.1.29
細江	18	田んぼ横の側溝のつなぎ目に隙間があり水切りができない。コンバインが田んぼの中で動けなくなってしまう。	R3.1.29
細江	18	耕作放棄水田の雑草が茂り、農道や水路に悪影響を及ぼしている。	R3.1.8
細江	18	区画が小さく配水不良の水田ほ場もあり、大型機械での作業が困難	R3.1.8
細江	18	農道の劣化	R3.1.8
細江	18	農道の畦畔に樹木が茂り通行に悪影響がある。主に民地だが公有地でもみられる。	R3.1.8
細江	18	直売を行っているが駐車場が少なく、客の路上駐車により警察から注意を受けている。	R3.1.8
細江	18	農地の集積	R3.1.8
細江	18	労働力の確保	R3.1.8
細江	18	農業のドリフト対策	R3.1.8
細江	18	畦畔撤去してもらいたい。	R3.1.8
細江	18	農地を借りる方は畔の管理にも気を使ってもらいたい。畑まわりの草草が害虫の住処になる。	R3.1.8
細江	18	現在耕作地域がかなり広がっており地域ごとにある程度まとめて増やしていきたい。一枚の面積も2反程度にしていかないと非効率のため耕作地の交換も視野に入れたい。	R3.1.8
細江	18	耕作がやりやすい農地が不耕作農地として利用されている	R2.12.21
細江	18	みかん、水田に次ぐ特産物が見えない	R2.12.21
細江	18	農地の環境が悪くなっている(人手不足で、側溝や農道の草刈)	R2.12.21
細江	18	山間地の農地は手がつけられない	R2.12.21
細江	18	農地を所有する負担解消方法	R2.12.21
細江	18	水田が雑木林と化しているが、長い間対策はできなかったのか	R2.12.21
細江	18	農業の専門家と特産物により、小農家でも農業が可能	R2.12.21
細江	18	農地を手放す	R2.12.21
細江	18	子供へ農地を残す	R2.12.21
細江	18	いつまで農地を所有するのか	R2.12.21
細江	18	田→高齢・後継者不足で貸したい農地面積と担い手が引き受ける意向のある面積が同等	R2.12.21
細江	18	畑→出し手の面積>担い手が引き受け意向ある面積	R2.12.21
細江	18	今後、耕作者が不足すると思われる畑をどうするかを考える。放棄地化する前に、集積するチャンスでもあるか？	R2.12.21
細江	18	新たな特産物が必要？→ほぼみかんばかり	R2.12.21
細江	18	やりやすい所は、荒れる前に、誰かにまた作ってもらいたい	R2.12.21
細江	18	畑の一団がないと、やりたいと思う人もいないか？→うまくまとめて、大規模農家の法人化でやっていく？	R2.12.21
細江	18	パイプラインの日地部分のムダ水があり、電気を多く使用しているため、日地の部分の工事ができないか(※日地部分は、水路に水を流して水田に入れているためムダ水が多い)	R2.12.21
細江	18	水田耕作者がないため、作ってくれる人があった場合、水田をくれてやる人がいる	R2.12.21
細江	18	後継者がいるけど、農業後継者がいない	R2.12.21
細江	18	山田の水田について、農業効率が悪いので耕作放棄が増えている	R2.12.21
細江	18	みかんは重いので、高齢になってくると軽い作物がいいと思う	R2.12.21
細江	18	水田よりは畑が多いと感じた	R2.12.21
細江	18	中山間地も多く、土地が分散していて、大規模は難しく、逆に台地の方はもっとまとめれば大規模になり、会社経営という形ができれば儲かる農業になるかと	R2.12.21
細江	18	後継者がいない	R2.12.21
細江	18	米を作ってくれる人がいないので、作ってくれる人が欲しい	R2.12.21
細江	18	集積する必要	R2.12.21
細江	18	畑の大規模化→耕作者不足	R2.12.21
細江	18	後継者の農業への関心	R2.12.21

細江	18	所有地水田が不要と感じている	R2.12.21
細江	18	耕作放棄地にさせないために何かできないか	R2.12.21
細江	18	畑と水田が混在している	R2.12.21
細江	18	借りて大規模化→管理できないことも	R2.12.21
細江	18	土地の集積、法人化→人手、設備	R2.12.21
細江	18	「儲かる農業」会社経営としての仕組みづくり	R2.12.21
細江	18	出口戦略、販路(JA頼みでない)	R2.12.21
細江	18	観光と合わせていく	R2.12.21
細江	18	水田集積→担い手の思いやり(借りたい人が多いため)	R2.12.21
細江	18	農地はいらぬ→引受け先を、どうするか	R2.12.21
細江	18	意識改革	R2.12.21
細江	18	放棄地の固定化、環境悪化	R2.12.21
細江	18	紹介できない放棄地化の防止(サポート)	R2.12.21
細江	18	小さい農家、生産物を工夫	R2.12.21
細江	18	田は集積が行われている	R2.12.21
細江	18	担い手の後継者、安心	R2.12.21
細江	18	一方で、畑の相談が多い	R2.12.21
細江	18	田が作れなくなった→あげる(権利設定ではない)	R2.12.21
細江	18	パイプライン化されている。池沼の水がムダ(白地)	R2.12.21
細江	18	農地→ソーラー、後継ぎが会社員	R2.12.21
細江	18	小規模や高齢化	R2.12.21